

各地域の主体と連携した環境保全活動

グリP

私たちは地域との協働関係を持って自然環境や営農環境の整備を進め自然との共生を推進することを目的にこの活動を行っています。以下で活動内容について説明していきます。

■ 大崎地区におけるびわ畑の耕作放棄地の再生

びわ畑の耕作放棄地の再生は私たちが最も力を入れている活動です。私たちは耕作放棄地となってしまったびわ畑に入り込み、1年間を通してびわを育てています。

また、手を加えた場所ではオーナー制度にも挑戦しています。その他にも、びわ畑の敷地内において除草を兼ねて野菜を育てたり、びわ畑の拠点のような場所に日よけ設置して人が集まれるような場を作ったりしています。



■ 日見川における清掃活動兼水質調査

長崎総合科学大学の周辺にある日見川では、川沿いの草むらや川の中に捨てられたごみが目立っていました。そこで自分たちで企画してごみ拾いを行ない、大きなボランティアごみ袋で6つ分のごみを回収しました。

更に、ごみを拾うついでに簡単な水質調査も行い、夏休みの期間に毎週データを取り、集めたデータの分析までを行ないました。



■ 橘湾岸における海洋ゴミ拾い

長崎総合科学大学から車で10分程度移動した橘湾岸のテトラポットにはたくさんの漂着ごみが打ち上げられていました。その中でも特に発砲スチロール片が目立っており、景観を損ねていました。そこでグリPメンバーで現地に行き、発砲スチロール片を中心に車6台分程度のごみを拾いました。

